



◇指導方法

個に応じたワークを使って学習。

- ① 10～50円までの数字と10円玉の数のマッチング
- ② 1円玉～500円玉、1万円札までを使い金額を表す。5円玉や50円玉を使って金額を表すワークもあり。
- ③ かけ算やたし算を使って品物を数个買う。
- ④ ひき算を活用してお釣りを出すワーク。

◇指導のねらい

日常生活の中でお金を使うことができるようになる。

◇指導の評価

- ① 生活単元学習での買い物学習やバス、電車の活用でのお金の支払いなどが上手になってきた。
- ② 5円玉や50円玉の活用が上手になった。
- ③ お釣りや見通し（235円では、300円出す、など財布の中を見て、支払い金額に1番近いお金を見つける）力がついてきた。